会　議　録

令和５年10月18日作成

<table>
<tr><td>会議名</td><td colspan="3">第1回木更津市商工業振興計画推進委員会</td></tr>
<tr><td>開催日</td><td colspan="2">令和5年9月28日（木）</td><td rowspan="2">場所</td><td rowspan="2">木更津市役所駅前庁舎
8階防災室・会議室</td></tr>
<tr><td>時　間</td><td colspan="2">午後２時00分から午後３時50分まで</td></tr>
<tr><td>出席者</td><td colspan="4">委員　石出忠輝　内田伸一郎　佐久間ひろし　國吉俊夫　平柳利一　櫻井亜耶
石田亨　鶴岡久美子　佐々木勝之
市側　渡辺芳邦　伊藤昌宏　吉田知子　島村領一　地引克
㈱ちばぎん総合研究所　関寛之　水野誠之
（第２次木更津市商工業振興計画策定業務委託受託者）</td></tr>
<tr><td>議　題</td><td colspan="4">(1)正・副委員長の選出について
(2)アンケート調査・分析結果の報告について
(3)施策の体系（骨子）について</td></tr>
<tr><td>公開・非公開の別</td><td>公　開</td><td>非公開理由</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td>傍聴人</td><td colspan="4">0人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="4">下記のとおり</td></tr>
</table>

（概要）

○事務局（島村）

本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

事務局を務めます経済部産業振興課島村でございます。まず会議に入る前に事務局から３点ご連絡いたします。

１点目は本日の議題２「アンケート調査・分析結果の報告について」を説明するに当たり、業務受託者である株式会社ちばぎん総合研究所に出席いただいておりますことを報告させていただきます。また、事前にご連絡した議題３「施策体系（骨子）」を事務局より説明後、委員の皆様より商工業の課題や重点的に実施すべき施策について一人ずつご意見を賜りたいと思っております。

２点目は本会議につきましては、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例第３条に基づき公開することとなっております。本日の傍聴人はございません。

３点目は会議録作成のため、会議内容を録音させていただきますので、予めご了承く

ださい。なお、ご発言の際は、お手元のマイクのボタンを押し、発言後はもう一度ボタンを押して、マイクをオフにしていただきますようお願いします。それでは、只今より、第１回木更津市商工業振興計画推進委員会を始めます。始めに、渡辺市長より、委員就任に係る委嘱状の交付をさせていただきます。自席にてお受けいただきたいと思いますので、石出委員から名簿の順に交付いたしますので、お名前を申し上げましたら、恐れ入りますがその場でご起立をお願いします。

【　委嘱状交付　】

　ありがとうございました。本日欠席の委員には事務局から後日お渡しさせていただきます。続きまして、渡辺市長よりご挨拶を申し上げます。渡辺市長、よろしくお願いいたします。

〇渡辺市長　　（あいさつ）

〇事務局（島村）

　ありがとうございました。

　なお、渡辺市長におかれましては、公務のため、ここで退席をさせていただきますので、ご了承願います。

（市長退席）

〇事務局（島村）

　ここで、本日は、初会合となりますので、委員の皆様には、自己紹介をお願いしたいと思います。配布させていただいた名簿順に名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、ご起立のうえ、一言ご挨拶をお願いいたします。それでは、石出委員、よろしくお願いします。

（各委員及び事務局よりあいさつ）

〇事務局（島村）

以上となります。それでは、議題に入りたいと思います。本委員会の議事進行は、附属機関設置条例第6条第1項により、委員長が務めることになっておりますが、本日初めての委員会で、委員長が決定しておりませんので、委員長が決定するまでの間、伊藤経済部長が仮議長を務めさせていただきます。伊藤部長よろしくお願いします。議長席までお願いいたします。

〇仮議長（伊藤部長）

経済部長の伊藤でございます。委員長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いします。本日の出席委員数は、9名でございます。よって、附属機関設置条例第6条第2項の規定により、過半数の出席をいただいておりますので本委員会は成立いたします。

それでは、これより議事に入ります。議題 1　正・副委員長の選出についてを議題に供します。正副委員長の選出は、附属機関設置条例第4条第1項の規定により、委員の互選となっております。選出方法はいかがいたしましょうか。

〇國吉委員

進行役から話がありましたように、今日初めての会合であり、事務局の方の案があると思います。事務局に一任したらどうでしょうか。

〇仮議長（伊藤部長）

事務局一任との声がありましたが、事務局案はありますか。

〇事務局（吉田課長）

委員長・副委員長についてでございますが、委員長につきましては木更津商工会議所の副会頭である内田委員、副委員長につきましては木更津市富来田商工会の会長である佐久間委員をご提案いたします。

〇仮議長（伊藤部長）

ただいま、事務局から内田委員を委員長に、佐久間委員を副委員長に推薦したいとの発言がありましたが、いかがでしょうか。

〇委員一同

異議なし。

〇仮議長（伊藤部長）

ご異議ないものと認め、委員長に内田委員、副委員長に佐久間委員を選出させていただ

きます。それでは、今後の進行につきましては、内田委員長に議長をお願いすることとさせていただき、これで仮議長の任を解かせて頂きます。ご協力ありがとうございました。

〇事務局（島村）

伊藤部長ありがとうございました。内田委員長、これからの議事進行よろしくお願いします。

〇内田委員長

ただいまご指名をいただき、議長を務めさせていただきます木更津商工会議所の内田でございます。何分不慣れでございますが、皆様方のご協力で、素晴らしい委員会にしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それではここからの進行は、着席にて進行させていただくことをお許しいただきたいと思います。円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いします。

それでは、議題2「アンケート調査・分析結果の報告について」を議題に供します。事務局から説明をお願いします。

〇㈱ちばぎん総合研究所（関）

ちばぎん総合研究所からご報告申し上げます。

まず木更津市の商工業の現状並びに取り巻く環境変化についてご説明いたします。資料は、右上に資料 1－1 でございます。木更津市の商工業振興計画策定に係る基礎調査報告書の概要版をご覧ください。なお報告書の本編につきましても参考資料としてお配り申し上げておりますので、必要に応じてご覧いただければと存じます。

まず表 1、左上の図表 1 をご覧ください。商業の売上高の概要になります。木更津市の商業の売上高につきましては千葉県及び君津地域の他都市よりも大幅に増加しております。これは東京アクアライン接岸地周辺に大型商業施設が相次いで立地した影響が大きいものと思われます。一方、図表 2 でございますが工業の製造品出荷額等の推移です。直近ピークの 2018 年以降は年を追って減少傾向となっておりまして、厳しい状況となっております。

次に内部環境、外部環境分析です。図表 3 に取りまとめておりますが、まず本市を取り巻く外部環境について簡単に説明いたします。機会といたしましては、DXデジタルトランスフォーメーション、SDGs、この推進機運が高まっていること。また、コロナで使いたくても使えなかったお金が、一説によると 60 兆円と言われておりますけれども、こちらが今後リベンジ消費として市場に回ってくること。またリモートワークの普及で地方に移住する動

きが強まっておりまして、本市がその受け皿になりうること。成田空港また高速道路の整備が進んでおりましてアクセスの利便性が高まっていること。さらにはヘルスケア関連産業への関心が高まっていることは、オーガニックなまちづくりを目指す本市にとっては、強い追い風となります。一方、脅威でございますが、日本全体では人口が減少フェーズに入っており、内需縮小リスクがあります。要はこれから売り上げが増えにくくなる。円安の影響、規模災害の発生などのリスクなどが挙げられます。

1 ページの右側は内部環境に関する分析とありまして、まずは本市の強みでございます。図表 4 は君津地域の経済規模でございますが、本市及び君津市、袖ケ浦市のシェアがいずれも約 3 割と拮抗している状況です。注目すべきは本市の第三次産業のシェアが約 5 割、君津地域の約 5 割となっておりまして、本市は君津地域の商都であると、商業の競争力が高いことがわかります。図表 5 は君津地域の人口動向ですが、2020 年時点の本市の人口は君津地域の約 4 割のシェアとなっておりまして、本市の経済並びに君津地域の経済の下支えをしているということでございます。

右下は本市の産業集積クラスターについてです。本市にはバイオテクノロジー企業などを約 30 社が立地しております。かつアカデミアパークのほか、東京湾アクアラインの接岸地周辺に、三井アウトレットパーク木更津をはじめとして、一大商業機能を有しております。これらの産業クラスター産業集積が、市内の商工業事業者に対して、いかに相乗発揮、相乗効果を発揮できるのかということも重要な視点になります。

裏ページをご覧ください。左上の図表 8 ですが 2030 年までの人口推計になります。本市は、君津地域で唯一、増加傾向が続く見込みとなっております。図 9 は新設住宅着工戸数の推移でございます。本市の新設住宅着工戸数の君津地域のシェアです。これが約 5 割に昇るなど、地価の割安さ、またアクセス利便性のよさなどから新しいがどんどん建築されている状況です。経営者の方に、新たに立地する際の条件、これを聞いてみますと、安定的な雇用確保、これを挙げる経営者が多い状況でございます。地域に人口が多いということは、安定的な雇用確保に繋がるため、本市は雇用面で大きなアドバンテージがあるといえると思います。また本市の強みに東京湾アクアラインまた高速道路網を介したアクセス利便性の良さが挙げられます。図表 10 は木更津駅から首都圏空港並びに東京駅との自動車による移動時間を調査したものですが、東京圏の主要都市と比べても遜色ない、非常にアクセスの良い土地柄ということが言えます。

最後に今年の５月にSDGs未来都市に本市が選定されたことも大きな強みと考えます。

これは本市が従前から進めておりますオーガニックのまちづくりが、国レベルで認められたことにほかならず、このことを起爆剤として環境関連ビジネスに注力するという方向性も考えられるかと思います。

一方右側につきましては本市の弱みです。まずは木更津駅周辺の中心市街地にやや元気がないことが挙げられるかと思います。図表 11 の通り、様々な施策の推進によりまして、各種指標としては上向きでございますけれども、往時に比べますと低水準と言わざるをえないため、にぎわい創出に向けて、継続的な取り組みが求められるというところかと思います。また図表 12 の通り、市内では、人口動態、また高齢化の状況に二極化が進んでいること。また図表 13 のように、これは木更津市ばかりではないですが、日本全体にいえることですけれども、自治体の財政の硬直化が進行しておりますので、今回策定する商工業振興計画の推進は、今後の持続可能なまちづくりに向けて、極めて重要性が高いものと思われます。以上駆け足でございますが基礎調査のご報告とさせていただきます。

○㈱ちばぎん総合研究所（水野）

続きまして、私水野から、事業者アンケート結果について、資料 1 の概要版に沿ってご報告させていただきます。なお、事業者アンケート結果の詳細につきましては、参考資料のアンケート報告書をご確認ください。

図表 1 をご覧ください。市内の事業所の経営の現状において、売上高などの各項目を 3 年前と現在の比較、今後の見通しについてDIで示したものです。DIとは、フュージョンインデックスの略であり、増加、横ばい、減少の回答の中から、増加の回答割合から減少の回答割合を引いたものです。主に日銀短観などに使われる企業の業況感などを示した経済指標になります。市内の事業者のDIは、設備投資額を除くすべての項目で改善が見られます。しかし、売上高は改善すれども、マイナスにとどまるなど、今後の先行きに対し不透明感が強くなっています。図表 2 をご覧ください。売上高について、企業規模別に整理いたしました。大中規模企業では、売上高は増加の見通しが強いですが、3 年前と比較すると悪化している一方、小規模企業は減少見通しが強いですが、改善していることがわかります。

次に図表 3 をご覧ください。市内の経営上の課題について、売上高の拡大が最も多く、次いで原材料の価格高騰と続いております。次の課題として、従事者不足、従業員の教育訓練及び後継者難など、人に関する課題が上位となっております。

では、人の課題を解決するための採用動向について、図表 4 をご覧ください。雇用人員の過不足について不足と過剰についての差を見ると、不足が 50 ポイント上回っており、市

内の事業者の多くは人手不足となっています。図表 5 をご覧ください。従業員を確保するための課題としては、応募はあるが希望する人材が確保できないが最も多く、次いで応募がないとなっており、企業と就業希望者とのマッチングや、企業の知名度向上に向けた取り組みなどが求められています。

次に右側をご覧ください。人手不足が課題となる中、経営を維持させるためには、デジタル化による業務の効率化が必要です。事業者のデジタル化の推進状況について、図表 6 をご覧ください。市内事業者のITの活用状況では活用しているが、4 割、活用していないのも 4 割と、まだまだ、活用を推進するにあたって伸びしろがあると言えます。続いて、図表 7 をご覧ください。デジタル化を通して、既存事業の変革までつなげるDX、デジタルトランスフォーメーションの取り組み状況について見ると、取り組んでいる、検討中は、合計で大体 3 割程度となっており、取り組んでいないが 6 割になっているなど、まだまだ市内事業者のDX推進が課題であることがわかります。図表 8 をご覧ください。企業規模別では規模によって大きな差が見えます。中小企業の規模の企業に対し、大規模企業で差が見られることから、中小企業規模企業に対し、DXの推進を支援していくことが求められます。図表 9 をご覧ください。では、DXを進める上での課題を見ると、DXの推進の課題として、先ほどの事業者の経営課題と同じ人に関する課題が大きな課題となっています。DXを推進する社内人材の不足や、デジタルを使う人間のリテラシー不足を推進するためのノウハウ不足など、DXを推進に向けた経営者社員に向けた取り組みの推進が求められます。

次に裏面の左側をご覧ください。図表 10 をご覧ください。SDGsの取り組み状況について、SDGsをすでに取り組んでいる及び検討している企業は 2 割にとどまっているなど、推進に係る意識はまだまだ浸透途中であることがわかります。図表 11 をご覧ください。課題としては、SDGsを取り組む上で何をしたらいいのかわからないといった、自分たちの事業において、SDGs達成に向けた取り組みはどのようなことができるのかを理解してもらうことが必要であり、経営者等に啓発していくことが求められます。

次いで、図表 12 をご覧ください。アクアコインについての導入状況です。導入状況について、BtoC業種のみでの導入状況を見ると、導入が 3 割となっています。図表 13 をご覧ください。課題として、利用者からのニーズがないが最も多く、課題解決に向けて、利用者の利用促進を図る取り組み、事業者の利用メリットの拡充周知などが求められます。

次に、裏面の右側をご覧ください。図表 14 をご覧ください。木更津市の立地条件について、事業者の評価として、木更津市のアクアラインからの都内アクセスや君津地域の交通

要衝となっていることから、アクセス面での評価が高い結果となっています。今後、企業誘致を進める上ではアクセス面での強みを生かした取り組みが重要と言えます。図表 15 をご覧ください。最後に事業者から聞いた重視すべきと思う商工業振興策です。一番が商業の振興となっており、次いで木更津ブランドの創出・活用、企業誘致、労働力の確保となっております。市内住民や市外、都内からの観光客などに対し、商業振興を図り、市内の経済活動を活性させること、木更津市ならではの商品サービスなどの提供が必要であるという意識が強いことがわかります。事業者アンケート結果の報告は以上となります。

〇㈱ちばぎん総合研究所（関）

続きまして消費者のアンケート調査結果についてご報告申し上げます。資料は右上に資料１－３とございます。そうしたアンケート調査報告書概要版になります。このアンケートの実施時期は令和 5 年の7月から8月、調査対象は木更津市民 2000 人、有効回答先は 446 人。有効回答率は 22.3%でございました。

まず木更津市全体の商業環境に関する市民の満足度です。図表 1 をご覧ください。とても満足とやや満足の合計が約 5 割となっておりまして、不満の合計を大幅に上回っております。木更津市全体の商業環境は、概ね良好と言えそうです。それが商業環境の何に満足しているのかという点については、図表 2 をご覧ください。7, 8割の市民がほとんどの品目で大型店舗を利用しておりまして、近年の大型店舗の相次ぐ進出が市民の満足度を高めている一つの要因と言えそうです。

木更津駅周辺の中心市街地の動向です。まずは市民の満足度ですが図表 3 をご覧ください。とても不満とやや不満の合計が約四分の三と圧倒的に多い状況となっております。図表 4 は木更津駅周辺の商店街の利用頻度ですが、全く利用しない市民の割合が 10 年前の約 4 割から、今回調査では約 5 割に増加しておりまして、市民の中心市街地離れが進んでおります。図表 5 は木更津駅周辺の商店街に不満な理由ですが、商店街に活気や魅力がないが約 7 割と圧倒的に多くなっておりまして、駐車場、駐輪場置き場がないが約 5 割で続いております。また図表 6 につきましては、木更津駅周辺の商店街に望むことですが、上位 3 位を見ますと駐車場、駐輪場の整備、空き店舗の活用、こだわりや魅力ある店づくりの順となっております。鶏が先か卵が先か、ではないですが、駐車場ができただけで商店街がにぎわうはずはないので、まずは魅力ある個店が増えていくこと、そしてさらには駐車場の充実が、商店街の活性化に向けて不可欠となります。

続いて木更津市が普及を促進していらっしゃる電子地域通貨アクアコインの利用動向に

ついてです。図表 7 はアクアコインの認知度ですが、約 2 割の市民がアクアコインを利用したことがあると回答しておりまして、利用したことはないが知っている。これを合わせますと約 6 割の市民がアクアコインを知っているというふうに回答をしております。この知っている、使ったことがない市民にまずはいかに利用してもらうかが喫緊の課題になります。そのために必要なことを図表 8 で見ますと加盟店舗の増加、またポイント還元率の上昇などが、さらなる普及促進の鍵を握っております。

裏面をご覧ください。木更津市の商工業事業者の雇用確保に向けまして働く環境のさらなる充実、これは重要な視点であります。この点に関する就業者の意向も調査をいたしました。まずは勤め先の満足度ですが、木更津市内で勤務されている方の約 7 割が満足と回答しております。その満足度項目別に見ますと、社内研修制度の満足度が高い反面、通勤の便は低位にとどまっております。図表 10 は将来的に希望する就業場所です。木更津市内にお勤めの方の 83.9%が将来的にも木更津市の中で働きたいと回答しております。意外だったのは東京都に勤務している方の約 7 割。木更津市以外の千葉県内にお勤めの方の約 5 割が、将来は木更津市で働きたいと回答していらっしゃることです。木更津市から都内へは高速バスも出ておりまして、平時の利便性は良好といいますが、強風時の通行止めや土日の渋滞など、必ずしも常に利便性が高いわけではないことも、通勤の便としてはやや難があるのかもしれません。将来的には木更津市で働きたいと考えている市民が多いことは、木更津市内の企業にとっては、雇用確保の追い風となります。

最後に木更津市の商工業の方向性についてです。商業のにぎわいづくりのために必要なことの上位 3 位を見ますと、使いやすい駐車場駐輪場の設置、家族や友人と楽しめる飲食店の誘致。町並み景観の整備の順となっております。木更津市では港町木更津再生プロジェクトや、富士見通りの無電柱化などを進めておりますが、こうした町並みの整備と歩調を合わせまして、駐車場のさらなる充実、また飲食店をはじめとする魅力的な店舗の増加が市民から求められているということだと思います。図表 12 は重視すべきと思う商工業振興施策です。市民に身近な商業の振興がトップにきているのは想定内ではございますが、2 番目に、大規模災害への対応力強化がきていることが注目されます。事業者のアンケートではこの災害対応は、第 5 位、28.8%にとどまっておりましたので、そのことを踏まえますと、市民ニーズの高い災害対応に商工業事業者が今後いかにこたえていくかという点も、本市の持続的な商工業の振興を考える上で重要なポイントと言えます。以上アンケート調査の結果等につきましてちばぎん総合研究所からのご報告でございました。

〇内田委員長

事務局から概要版を使って説明がありました。質問・意見等ありましたらお願いします。國吉委員お願いします。

〇國吉委員

東京までの時間についてお伺いしたい。資料1-1 の図表10の木更津駅からの自動車による移動時間だが、時速は何kmで行った場合でしょうか。私は 2 週間に 1 度、朝に木更津から都内の赤羽まで行ってますが、東京駅まで行く計算は正しいのでしょうか。実際に木更津から都内に向かうバスは木更津から東京駅まで 60 分としています。所要時間について、そこに違いがあるのはなぜでしょうか。

〇㈱ちばぎん総合研究所（関）

概要書の注書きにも記載しましたが、2023 年 8 月 30 日の午後 1 時に Google Maps にて検索したものでございます。時間帯によっても交通状況から所要時間が変わると思います。あくまで一つの目安としてご覧いただき、同時間に検索した場合の千葉とか東京から埼玉茨城の主要都市との比較として見ていただきたい。これは調査としては事実なのでそこをご覧いただきたいのと平均時速については調べておりませんでしたので、調べましてご回答申し上げたいと思います。

〇國吉委員

木更津市に対する報告書なので、報告書に記載する図表に記載している時間について正確性を持って記載してほしいと思います。市としてはどのように考えますか。

〇事務局（島村）

移動時間などのデータについてはもう一度精査したいと思います。

〇國吉委員

自分たちのまちについての報告書なので、委員会に提示する前にしっかりと確認してほしいと思います。

〇事務局（吉田）

報告書記載のデータについてもう一度精査して、正しい数値を載せたいと思います。

〇國吉委員

木更津駅から各駅までの所要時間については、Google Maps ではなく、自分たちの車などを使って調べて欲しい。

〇内田委員長

事務局は國吉委員の意見を受け止めていただき対処いただきたいと思います。続いて質問・意見等はありますか。佐久間委員お願いします。

○佐久間委員

説明ありがとうございます。資料 1－2と 1－3 の資料の最後に「重視すべきと思う商工業振興施策」について、図表がありますが、事業者、市民ともに「商業の振興」が最も多くなっています。この選択肢は漠然とした内容になっていますが、具体的な内容についてアンケートは取っていないのでしょうか。

○㈱ちばぎん総合研究所（水野）

アンケートは商業の振興という選択肢としてのみ伺っており、「商業の振興」の具体的な内容については伺っておりません。

○佐久間委員

アンケート結果の 2 番目以降の項目がより具体的なので、商業が盛り上がって欲しいという方向性はわかるが、その詳細についてもう少し具体的にわかればと思いました。

○内田委員長

他にいかがでしょうか。平柳委員お願いします。

○平柳委員

資料 1－1 で最初の商工業の現状で図表の 1 の商業であれば、木更津市の 2016 年で 3643 億円となっており、三井アウトレットパークとか、大型商業施設によるものと思われます。図表 2 の工業であれば、君津市の売り上げが非常に大きく 5851 億円で日本製鉄などの影響と想像ができるのですが、実際、市内の中小事業者自体の売上がどれぐらいの規模感なのかについて、わかれば教えていただきたい。

○㈱ちばぎん総合研究所（関）

規模に関しては手元に資料がないので、こちらもお調べしてご報告したいと思います。

○内田委員長

地元の商工業が気になり、詳しく数字として知りたいので、次回の時に資料等をご提示いただければと思います。

○㈱ちばぎん総合研究所（関）

承知しました。

○内田委員長

私から質問があります。先ほど、消費者アンケートの中で東京の方から来られる方の市

内就業の希望が多いとの説明があったと思いますがどのような方に聞かれたのでしょうか。例えば東京都にお住まいの方で、どのような方を対象としてアンケートを聞いたのか教えていただければと思います。

〇㈱ちばぎん総合研究所（関）

資料1―3の図表10についてのことだと思いますが、アンケート対象は木更津市内に住んでいらっしゃる木更津市民 2,000 人を対象に行っておりまして、その中で東京に勤務をされている方、木更津市内に勤務されている方、それぞれ分析したものでございます。

〇内田委員長

東京に居住している方ではなく、木更津市に住んでいて東京に勤めている方が将来こっちに帰ってきて将来はこっちで働きたいということですね。わかりました。

〇内田委員長

それでは事務局より冒頭で話があったように、議題 3「施策体系について」の議題について、委員の皆さん一人ずつ御意見をいただきたいと思っておりますので、その時間を取りたいので、よろしければ次に進みたいと思います。それでは、議題 3「施策体系について」の議題について、説明をよろしくお願いしたいと思います。

〇事務局（島村）

それでは私から議題 3、施策体系、骨子について説明いたします。

資料 2 の第二次木更津市商工業振興計画、施策体系、骨子についてというものをご覧ください。大変恐縮ですが、着座で説明させていただきます。こちらにつきましては、今説明しましたアンケート調査や分析結果、また第一次木更津市商業振興計画の施策を再整理する形で作成しております。体系は四つの基本方針と、そこにぶら下がります施策と取組、という形になっており、概要欄に現状考えられる具体的な内容という形で記載しております。新規の取り組みには下線を引いております。また、計画期間につきましては、急速に変化する社会経済情勢に対応していくためにも、前期の計画が 10 年と長いものでしたので、こちら柔軟に対応していくために、5 年という形で半分にしたいと考えております。

まず基本方針 1 の企業の成長とイノベーションになりますが、本市の主要工業の成長や競争力を高めるための五つの政策施策を展開します。まず施策 1、創業開業の促進では、取組 1、伴走型支援の充実として、らづ-Biz を中心とした相談支援や融資支援として、開業育成資金を実施します。取組 2、起業家コミュニティの育成として、年 2 回の創業塾の開催や、創業や新規事業を促すため、新たにビジネスコンテストや交流会を開催したいと考え

ております。次に施策2，生産性の向上では、取組 1、経営革新・DX支援として、経営革新計画承認事業者に奨励金として 5 万円を交付しています。また、らづ-Biz のITウェブビジュアル個別相談、DX推進支援セミナー、相談会などの開催を考えています。取組2、設備投資の促進支援として、固定資産税の軽減を図る先端設備導入計画の認定支援を行って参ります。次に、施策 3、販路開拓の促進では、取組 1、マッチング機能の強化としまして、らづ-Biz 相談者同士でのビジネスマッチングの実施や、かずさアカデミアパーク経済対策協議会での交流事業、企業間の交流事業などを実施します。取組 2、国内海外ビジネス展開支援として、ふるさと納税寄付の拡大PRの実施や、友好都市等との海外ビジネス展開の取組支援を実施します。次に施策 4、戦略的な企業誘致の推進では、取組 1、企業誘致の推進として、木更津市企業誘致方針の推進を行います。本市は交通アクセスや地価の安さにより、企業立地の優位性が高まっておりますが、現在、産業用地の不足もあるため、新たな産業用地の創出に向け、取組を進めて参りたいと考えております。次に、施策 5、木更津ブランドの創出では、取組 1、オーガニック関連産業の拡大として、オーガニック関連イベントの開催、展示会等への出展支援、オーガニック関連産業の発展に向けた国際会議の開催等を行います。現在、農業から小売業など、健康や環境にやさしい事業が木更津市で生まれ、また、企業の進出などもございます。本市の商工業の強みとして、このオーガニックシティとしてのブランド化をさらに進めて参りたいと思っております。取組 2、地域資源を生かした観光振興として、木更津市観光振興計画の推進を行います。本市では里山や干潟など豊富な地域資源を有しており、現在サイクルやキャンプなど、様々な観光事業が拡大しております。

続きまして、基本方針 2、企業の経営基盤の強化では、企業が持続可能性を高める二つの施策を展開します。まず施策 1、経営力の強化では、取組 1、経営支援の充実として、らづ-Biz、商工会議所、商工会等における相談支援や、中小企業資金融資制度及び利子補給事業の実施を行います。取組 2、事業承継の促進として、らづ-Biz 商工会議所、商工会等における相談支援を実施します。取組 3、リスクマネジメントの推進として災害時等での事業継続力強化に向けたセミナー等の啓発を行って参ります。次に、施策2、SDGsの取組推進では、取組 1、オーガニックなまちづくりの推進として、オーガニックアクション宣言企業やパートナーズへの登録の推進。オーガニックシティセミナーの開催など、企業のSDGsの啓発や取り組みを後押しして参ります。取組 2、脱炭素化推進として、国や県の省エネ・再エネ設備導入への補助支援等の周知、利用促進を行って参ります。

続きまして、基本方針 3 まちづくりと連携した経済活性化になります。施策 1、商店街の活性化では、取組 1、商業環境の整備として、商業施設整備や電灯料に対する補助支援等を実施。また、買い物支援として、移動スーパーや宅配サービスの周知を行って参ります。取組 2、まちづくり連携による商店街振興として商店街の運営、またイベント事業等に対する補助支援を実施して参ります。次に施策2、中心市街地の活性化。取組 1、空き店舗の活用促進として、空き店舗のマッチング支援や店舗改修費等の補助支援。また、景観形成重点地区支援事業の補助支援なども実施して参ります。次に、みなとまち木更津の賑わい創出としてパークベイプロジェクトの推進に向け、富士見通り再整備の一環でアーケードの撤去を実施します。次に施策 3、域内消費・経済循環の拡大では、取組 1、電子地域通貨「アクアコイン」の普及促進として、ユーザーの利用促進や加盟店の拡大を図って参ります。

最後に基本方針 4、人材確保・育成と職場環境の向上です。こちらは二つの施策を実施します。施策 1、人材確保・育成では、取組 1、多様な人材の活躍推進として、女性や若年者、中高年、様々な世代に対する就労支援セミナーを実施して参ります。また、外国人材の採用に関するセミナー等の実施もして参ります。取組 2、地域人材の確保として地元学生と地元企業のマッチングに向けた合同就職説明会を開催します。取組 3、キャリア教育の推進として、企業や地域人材を活用した出前事業による小中学校向けの体験学習を実施します。取組 4、職業訓練能力開発の促進として、君津郡市共同高等職業訓練校や国、県等の通じた幅広い業種の能力開発支援等の推進を行います。次に、施策 2、職場環境の向上では、取組 1、多様柔軟な働き方の普及促進として、市内の企業の働き方改革の機運を高めていくために、多様な働き方実践企業の認定制度などを実施して参ります。また、市の子育て、介護支援制度等を市内の企業の従業員様に周知して参ります。取組 2、福利厚生制度との充実として、勤労者退職金等共済掛金に対する補助支援の実施を行って参ります。以上が施策体系の骨子となります。

続きまして、資料 3「計画策定のスケジュールについて」をご覧ください。こちらは今後のスケジュールです。本日、第 1 回の委員会で皆様の協議いただいたご意見等を踏まえまして来月 10 月に事務局の方で素案の作成をして参ります。そして、11 月 7 日に第 2 回委員会という形で、その素案に対するご意見をいただく場として開催したいと考えております。その後、12 月議会、市議会の方で、議員の方に素案の説明、また市民への意見公募等を経まして、年明け 2 月下旬頃になりますが、第 3 回の委員会を開催させていただき、計画の最終案等の確認いただけたらと思っております。決定は 3 月の下旬ごろを予定してお

ります。

本日はアンケートの結果や調査の分析結果など、現状の施策体系の骨子という形で説明させていただきました。今後、素案の策定に当たり、皆様から本市の商工業についての課題や重点的に取り組むべき施策などに対して、ご意見をいただければと思っております。ぜひ忌憚のない意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○内田委員長

ありがとうございました。それでは事務局から説明をしていただいたところで、先ほど申し上げましたように、委員の皆様方から一言ずつご意見等をいただければと思います。本来であれば、石出委員からというとこでございますが、平柳議員がこの後、所用がございますので、まず平柳委員からお話を伺いたいと思います。

○平柳委員

思いつくままにお話ししたいと思います。個別の話として、1 の企業の成長とイノベーションで、(1)の②起業家コミュニティの育成とありますが、創業塾は年２回開催されており、相当な回数を開催していると思います。実際に創業したのはどのくらいなのでしょうか。また、その卒業生について、卒業後にまた集まって何かいろいろな交流をしたりとか、またいろんなアイデアを持ち寄ったりといった取組もやってみたら良いと思います。そのままにしてしまうのは非常にもったいないと思います。

市内で事業を始めようとする際に、困るのは地元で行う施設、場所です。いわゆるインキュベーション施設を市で用意して、それを無料、安価で一定期間、利用し、その成果をみて今後どうするのかとか、らづ-Bizの方にアドバイスしていただくといった育てていくような取組も必要と思いました。

次に生産性向上で、DXと掲げていますが、私どもの金融事業で考えていてもDXは非常に難しいです。事業そのものを見直して、新しい考え方で事業を構築していくのがDXなので、そこまで進めている事業者は少ないと思われます。DXと認識していても、実際は、ただIT機器入れただけとか、そういう事業者が非常に多いと思います。そのため、DX推進支援セミナーも必要と思いますが、その前段階の、IT機器を入れてもうちょっと人手を削減して、何か便利にしていきましょうというような、もう少し足元を見た施策があってもいいと思います。

木更津ブランドについて、木更津はアクアラインがあり、首都圏からも近いし、海もあり山もあり、いろいろな魅力のある街だなと思います。試しにふるさと納税のサイトを覗いて

みましたが、個人的な感想ですが、それを目当てにして寄付しようかなっていうものが意外とないような気がします。北海道のホタテやカニや君津市だとかずさ和牛といったインパクトがあるものがあるわけではないですが、市の特産品があってそれをふるさと納税することによって、そういった収益が上がってくるのがいいのか、それともまずはお試しみたいな感じでふるさと納税に上げてみて、それで人気があってそちらを特産品としてやっていくのか、もう少しこのふるさと納税の取組も見直したほうがいいのかなと思います。

近隣 4 市のふるさと納税について、木更津市の寄付について個人法人でどれくらいあるのかを知りたいと思います。君津市とか富津市とか、南房総方面の館山、勝浦などの施策的なものも、商工業と絡めてやったらいいんじゃないかと思います。

2 の企業の経営基盤強化について、中小企業の制度融資とか利子補給についてです。木更津市でもやっていただいてまして、近隣の 4 市と比べても内容的に非常にいい内容だと思います。おかげさまで、各金融機関で枠がありますが、それも当組合ベースではその枠をもうほぼ使い切っているような状態であり、今枠を増やしていただいて 27 億円ぐらいになっています。ゼロゼロ融資も返済が始まっているなど企業は、いろいろ厳しく、特に中小零細企業に関しては、だんだん経済的に良くなってるんですけれども、コロナ前には戻りませんので、新しいことをやっていかないと今まで以上の売り上げとか上げてくのは難しいと思います。我々は何ができるかって言えば、本業のお手伝いももちろんですけれども、やはり融資を交えてというところが大きいので、この制度融資利子補給の規模感をもうちょっと考えていただけると、我々としてもやりやすいと思ってます。

まちづくりと連携した経済活性化について、今回開催された木更津港まつりも今回すごい盛大で、人も沢山来場していたと思いますが、私の知る限りでは港まつりは、それ自体のイベントとして運営されてるだけで、木更津市や富士見商店街、中央商店街を挙げて、盛り上げていこう的な発想が少し足りないのではないかと思っています。

市内にはアウトレットや大型商業施設があるので、前々から言われている回遊性の向上について、都内から来た方の目的地としてクルックフィールズがありますが、一つの目的地であって、両方は少し難しいと思います。街場でそういったところがあるといいと思っています。規模感的には若干小さいのかなと思いますが、パークベイプロジェクトで鳥居崎海浜公園が随分整備されてきてますが、あの施設だけで人を呼び込むっていうのはちょっとまだ、足りないっていう感じがします。そのためには駅前の再開発等々も絡めながら、この駅前から鳥居崎海浜公園にかけての、景観や店といったものを全体として整備していかない

と、アウトレットと金田に来て、駅前まで人を引っ張ってくるっていうのは、まだまだ足りないのかなと思います。思いつきですが、例えば何か話題づくりとしてパークベイのところにキッチンカーとか集めて、キッチンカー祭りみたいなのを定期的に開催すれば、都内から、お昼ご飯を目当てで来ていただくとかことも可能と思います。

駅前は特に西口の駅前について、古いお店が多く、与三郎通りはいい雰囲気だと思うんですけれども、八剱のところにあった小さなお店もなくなっており、あのような場所に、市で簡単なお店とか与三郎通りではマッチングではなく、市で借り上げるなどしたらどうでしょうか。そのような施設で新たにお店をやりたい、飲食店やりたいといった木更津で開業される方って結構多いと思います。駅東口でも、若い方が店を開業しているので、そういう人たちに例えば半年とか 1 年でお店を持つチャレンジショップのような形で使わせてあげて、うまくいけば、期間終了後に別のところで出店するといったチャレンジできるような横丁みたいなのがあればいいと思います。そこを目指して人々が飲食しに来ると思いますし、狭苦しいとこに小さい店がいっぱいあるっていうのがいいと思います。

我々がやってますこのアクアコインでは、いろんな地区から指名があって講演を行うなどいろいろやっており、これ木更津ならではのものとして拡大中です。5 年前に始めた時は皆さんあんまり相手にしてくれず、私も非常につらい思いをしてたんですけれども、昨今では、やっぱり使う方の利便性を高めるという意味では、カインズとかベイシアといった大手の会社にも加盟いただいてますし、現在多くの店舗を本社で検討していただいています。現在では積極的に勧誘しなくても加盟店が集まってきてる状態です。あとはポイント 20%還元とかもやってますので、そのおかげで利用者もどんどん増えてると思います。こちらのアクアコインをやはりいろんな場面で使えるような形にしていきたいと思います。また、市の方では、高校生のアイデアコンテストを開催しており、木更津市自体をどういう市であれば、自分たちがこれから将来住んでいけるのかなという課題に対するアイデアを学生さんから出していただきたいなという思いもあり、アクアコインに限らず、若い方の意見も取り入れながらやっていければなと思います。

人材確保とかの関係では、小中学校向けの体験学習ということで、以前私も 1 回ぐらい高校生に対しての金融教育を行ったことがあり、来年からNISAが拡充されまして、みんなが多くの方が投資信託などをやっていく機会が増えると思います。日本全体を見ても金融教育を全然やらない状態で来ているので、今の中高生とかに基本的な金融教育をする機会を与えられれば、物事を貨幣の視点から考えられるようになり、地域の活性化へのベー

スになると思います。ぜひ金融教育に関しては、スポット的に実施するのではなく、力を入れていければなというふうに思います。あと君津郡市共同高等職業訓練校についてですが、実現は難しい話かもしれませんが、内容が造園や建築などと限られています。実際に企業で働いていてスキルを身に着けたいという方が行くには少し内容が違うかなっていう感じがします。君津のポリテクセンターもありますが、君津のポリテクセンターはどちらかっていえば工業系でCAD、アーク溶接といった方面であり、一般の企業で誰もがこう幅広に学んで利用できるという能力開発とは、少し種類が違っていると思います。そのような講座を受けるために、千葉市、船橋市、柏市とかあっちまで行かないとそういった訓練を受けるところがないっていうところは、地域の人材育成という面で、この基本方針4の施策1の4で書いていただいてますが、もうちょっと打つ手があるのではないのかなと思います。

あと、他地域で地域おこし協力隊が募集されていますが、あれは木更津だと都会で対象外っていうことなんでしょうか。地元の人の意見もいいんですが、外部の人の意見を聞く機会ももし持てれば今後参考になるんじゃないのかなと思います。

○内田委員長

ありがとうございました。いくつか質問があったと思いますので、次回の時に事務局からご説明できるようにしていただきたいと思います。

○事務局（島村）

承知しました。

○内田委員長

続きまして石出委員お願いします。

○石出委員

まず、詳細な分析ありがとうございました。

私も平成元年に木更津高専に赴任しまして、平成元年の頃の駅前は若干よかったかなっていう感じしております。その中で 35 年経ちましたが、木更津市全体としては、かなり可能性もあり、非常に頑張ってるところもあると思います。昔はよかったけど、今ちょっと厳しいところを何とか活性化して、面白いまちにしていこうという目標だと思います。

木更津高専の場合は、平成元年の学生の姿と今の学生の姿を比べますと大分変わってきてます。女子がたくさん入り、情報系の勉強をしようと思って入学する子も多いので、女子学生については地元で仕事があれば、働きたいといった意向もあると思います。そのような木更津市のまちの魅力とか、歴史的なことも含めて、そういうまちの魅力とかを伝え

る交流の場があること。あと企業の説明会とかで地元の方は学生にぜひPRしていただいて、この会社いいなってと感じさせて、入社のモチベーションになればと思います。彼ら彼女たちは、情報工学とかいろいろ勉強してますので、そこで何か働きがいがあれば頑張ると思います。

木更津市の方、それからいろんなお立場の企業の方と市民講座、出前講座やったりして、いろいろお呼びかけをいただいてありがたいんですけども、もっとフランクな形として、この前ビジネスコンテストを開催していただいて参加させていただきましたが、現在まちで困ってるようなことを教えてもらって、それに対してどのように考えてくれるかみたいな呼びかけしていただき、それを討論会のような形で広げて深めていけば、学生は非常に多感な時期なので、木更津市に魅力を感じ、ここで町の発展のために頑張っていこうみたいな感じになってくれればいいのかなと思いました。

○内田委員長

ありがとうございました。ご参考にしていただければと思います。続きまして佐久間委員お願いします。

○佐久間委員

説明ありがとうございました。

骨子を作るにあたって、取組について概要欄が箇条書きで記載されていますが、箇条書きだと読んでもイメージが湧かないので、具体例とかあれば例示していただくと話し合いの中身も深まるし、よくわかると思います。成功例失敗例とか含めて、そういうものを御提示いただければ具体的に話し合いが進むと思ってます。例えば、企業の経営基盤強化の事業承継という問題について、言葉で言うとすごく未来があるような感じに見えますが、具体的に進めるとなると、非常に多くのハードルがあって、どうなるのかって成功例も少ないと思います。この問題に対し、素晴らしい成功例があればそれに越したことはありませんが、それは非常に注目していますので、ご提示をお願いしたいと思います。

私は富来田地域で起業していることから、地域でいえば地域格差があり、非常に人口が減っている。地元の商店の皆さんも高齢化で次の世代に譲らないという意向が多く、商店やっていくのは希望がないというような現状となってます。その辺は商業の振興はよりもっと深い問題になってしまいますので、まず人口増加をどうしたらいいのかっていうことを皆さんと考え、また県の方ともかけ合っていただいて、何かの施策をしないといけないと感じています。

また、アンケートの資料の中で皆さんがどこに買い物に行くかっていうと、やはり大型店舗となっており、そういうとこはやっぱり魅力があります。現状としては、それに対抗して地元商店街がどうするか、商業をどう活性化させるかについて、いろんな知恵がないとハードルが高いと感じました。私の感想なので、それがどうしたらできるのか私もわかりませんが、何かいい知恵を出していただけたらありがたいと思います。

○内田委員長

ありがとうございました。続きまして國吉委員お願いします。

○國吉委員

骨子についてですが、施策取り組み概要の先で、関連する部署が経済部だけではなくて、都市整備部など、庁内のいろんな部と連携する必要が出てくるため、それに対応をしないといけないと思います。例えば、空き店舗が増えたことで空いてるから、じゃあ次にできますかって、完了検査済みを取らないと補助金が出ないとか、空き店舗は内装が決まってないことから、絶対完了検査済みは取れない。そこまで先を調べとかないと、実際に制度を作って補助金を用意しましたよ、皆さんやってください。ただし条件は完了検査済みが必要ですとなったら、その条件に当てはまらず活用されないということもあります。施策を成功に導くためには、経済部だけでやるのではなく、いろんな部署との関連性があるということを考えて、その部署の方々と一緒の打ち合わせをするってことも大切だと思います。執行部の方々はこの表を作って終わることが多いので、それをもっと進めていただきたいと思います。

○内田委員長

ありがとうございました。國吉委員がおっしゃった関連性について、是非経済部だけでなく、横のつながりも作っていただければと思います。続きまして櫻井委員お願いします。

○櫻井委員

國吉委員の意見で出た、横の繋がりについて、私も前から感じていたことがあります。子ども関連になりますが、新しい住宅が市内の様々なところで建設されていて、私が住んでいる請西南地域では住み始めて 10 年ちょっとで、周りは家だらけになりました。それにより真船小学校の生徒は大きく増加しましたが、一時的な増加だと思います。私が育った君津市の八重原小学校というところでは一学年 5 クラスのマンモス学校で、6 年生のときに、人数が多い理由から新しく小学校が出来て分かれましたが、当時は適正な人数になりましたが、徐々に子供の数が減少していき、今ではどちらも廃校するかどうか検討していると

いった話も聞いています。土地があるから、住宅会社が買って建てるのではなく、市として、住宅を建てる許可を出すのに、横の繋がりで他部署との調整が図れていれば、その小学校の生徒数が一気に増えることもないと思います。金田地区が現在、そのような状況になってきてると思います。地区内で大型施設ができているもあると思いますが、そのようなところで横の繋がりを作って、うまく連携してもらいたいと思っています。

また、アクアコインの消費者アンケートの結果について、アンケートの回答者の年齢層が高かったのもあると思いますが、アクアコイン知らない人や知っていても使ってない人っていうのが多いと思います。導入してるお店も増えてきてると思いますが、アクアコインが利用できることをアピールすることが大事と思います。先ほどお伝えした小学校で統廃合問題があった際、生徒を集めるのに小規模特認校の制度の適用など、市内だったら誰でも通える学校があるという制度があることを、市内に住んでいるお母さんたちは知らない人が多く、チラシを作るなど宣伝していたら、知ってもらえる人がたくさん増えました。アピールすることは大事だと思いますので、アクアコインの機能の周知や利用可能な店舗についてのアピールをもっとしていったほうがいいと思います。特に主婦や女性が使うのが多いと感じるので、その層に対するアプローチとしてカインズなどでやってた出張チャージを平日とかにでも行えば認知度が上がると思いました。

○内田委員長

ありがとうございました。続きまして石田委員お願いします。

○石田委員

骨子の企業の成長とイノベーションで、施策の木更津ブランドの創出で取組 2、地域資源を生かした観光振興で木更津市観光振興計画の推進というありますが、木更津は海も山もあるという中で、里山とか海とかのサイクリングの専用道路の整備をすることで海の方から山の方まで、富来田地区やクルックフィールズといった市内各地域を 1 日で回れるようにして、木更津の魅力を再発見してもらうのはどうでしょうか。サイクリングを楽しむときに飲食店や道の駅への立ち寄りしてもらい、市内をぐるっと回ってもらえるルートを作るのはいいのではないかと思います。

施策 3 まちづくりと連携した経済活性化で、商業施設整備や電灯料等に対する補助、支援の実施となっていますが、蛍光灯や白熱灯からLEDに変えることへの補助はありますが、現在、商店街の電灯の多くは LEDに変わっており、電気代は大分減っています。しかし、年数が経ってきて、LED灯の交換が必要となると、業者からは一個あたり 8000 円程度か

かりますとか言われ、商工会議所に交換に対する補助金はあるか聞いても、ありませんとの回答があった。LED 化については補助金が出るが商店街連合会や商工会商店会に補助がありますが、その街路灯の電球が切れたっていう時の補助金はありません。商店街では、小さい商店街でもやっぱり街路灯があるおかげで町が明るいというところがあるので、明るさを維持するためにその補助の間口を広げてもらって、電球の交換にも補助金出しますとなると各商店会は非常に楽になると思います。

○内田委員長

ありがとうございました。続きまして鶴岡委員お願いします。

○鶴岡委員

私の住んでいる富来田地区ですが、私たち富来田から市内に出るときは、木更津に出ると言います。木更津で何か食べに行こうって思っても、木更津駅の西口は意外といろんなお店がありますが、有料の駐車場を嫌って、無料で利用できる駐車場がある商業施設を利用します。なので、合同で利用できる駐車場があれば良いと思いました。

また、石田委員のサイクリングの道路整備については賛成で、よくテレビで、東京の方から、馬来田、富来田地区を回るいう番組があります。だけど、それはみんな東京の方からなので、木更津市内を回れるような形がいいと思います。木更津市の商店街っていうか市内、西口の活性化というと難しいと思いますが、具体的にもっともっとやっていく必要があると感じました。

○内田委員長

ありがとうございました。最後に佐々木委員お願いします。

○佐々木委員

個人的には、この駅前庁舎がどうなるのかが一番気になるとこでありますけど、パークベイプロジェクトについて、木更津は駅を降りると港がすごい近いです。その港を行きたくなるような港に変わるのが一番いいと思ってます。ですのでこのパークベイプロジェクトをぜひ推進していってもらいたいと思います。

○内田委員長

それでは皆様方から一言ずつご意見をいただきました。バラエティに富んだご意見で本当にありがとうございました。

それで今後このご意見を基にして、事務局は次回の委員会の時に話を広げていただきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは以上をもちまして本日予定されておりました議題が終了させていただきましたので、つたない議長でございましたが任を解かせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

〇事務局（島村）

内田委員長ありがとうございました。

また、皆様貴重なご意見本当にありがとうございました。

次回は 11 月 7 日火曜日 14 時からを予定しておりますが、皆さんの合意、貴重なご意見を踏まえまして、また素案という形で作成していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。以上をもちまして第１回木更津市商工業振興計画推進委員会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和5年 10 月18日

木更津市商工業振興計画推進委員会委員長　内田　愼一郎